

万全のサポート体制で農業に向き合えた



就農の決め手は「人」でした

いつかは農業をやりたいと思っていたのでいろいろな場所での就農を検討しました。最後は福岡県での就農と悩みましたが、「人」が決め手で府中に就農することにしましたね。「1回飲んで腹割って話してみようやあ」と誘ってもらったところから、業績の話や、栽培のアドバイスもたくさんいただくようになりました。とても温かい場所に出会えたと思いましたよ。

チャレンジファームに背中を押された

チャレンジファームでは研修中から給料がもらえるうえに、2年間で座学、実技何から何まで叩き込まれます。僕の場合は、この2年間で地元のいろいろな方とお話して顔を覚えてもらうことができました。関係を作れたことにも大きな意味がありましたね。それから就農後の農機具も、地元の農家さんと共同利用が可能で大きな投資が必要ないことや、野菜の販売先が確保されていることも、ここに就農しようと決めた大きな要因ですね。

チャレンジファームの詳細は6ページへ>>>

「支えてくれた人」に
お聞きしました



甲奴郡加工用野菜部会
部会長 坂永 年弘さん

Q.どんな場面でサポートを？

サポートというより、いつも通る道に谷脇さんの農地があるので、様子を見てつい口を出し、手を出していました(笑)上下は他の産地と違い、個の農場が連携しあって販売先を確保している地域なので、谷脇さんだけでなくみんなで助け合っていますよ。

甲奴郡アスパラガス生産部会
部会長 奥中 淳志さん



Q.新規就農希望者へ一言！

農業をすることは大変。でも、やると決めた人には地域全体で全力サポートします。困ったことがあれば、いつでも相談してくださいね。

僕らしい農業ができています

デジタルを活用した農業

これは各ハウスのアスパラガスに自動で肥料を送る機械の操作盤です。土の養分の数値を見ながら調整しています。

また他にもスマートフォンで土の温度を確認できるようにしたり、経験を生かして自分でプログラムを書いたりして工夫を凝らしています。



子育てをしながらの農業

農業をしても子育てにしっかり関わることができていると思っています。午前中は妻と一緒に赤ちゃん講座などに行ってみることもしています。育てる野菜にもよりますが、僕の場合は時間が確保できていると感じますね。



坂永さんに抱っこしてもらったこと

どんな人も農業ができる環境を目指して

僕のハウスの畝は高く、畝と畝の間の道を整えることで例えば車いすの人でも通ることができるように心がけて設計しています。これは展望ですが、いろいろな人に僕のハウスに来てもらい農業を知ってもらいたいんです。皆さんが農業に触れることができる農場を目指しています。



農場「かぜのせと」

収穫体験の申し込みなど、お待ちしております！

府中市上下町国留139-1

ご連絡はこちら

